



# せせらぎ SeSeragi



## 漢方のよさ No.165 号 ～漢方の流派V～

発行日：2023年6月5日(月)

発行者：浮田 徹也

発行所：医療法人 せせらぎ会 浮田クリニック  
〒520-0242 滋賀県大津市本堅田 6-36-1  
☎077-574-3751 ☎077-574-3792  
HP: <http://www.ukita.gr.jp>  
✉ e-mail: [kanpou@ukita.gr.jp](mailto:kanpou@ukita.gr.jp)

漢方の流派Vのお話。せせらぎ49号、57号、61号、73号、79号、87号、99号、114号、136号も参照してください。

15～16世紀の日本医学は、136号で紹介したように、熊宗立の影響が大きく、吉田宗恂(よしだそうじゅん)や曲直瀬道三(まなせどうさん)などの医家につながっていった。日本の医書印刷は中国に500年遅れた。五山臨済宗僧、医家の月舟寿桂(げっしゅうじゅけい)は、大永版「医書大全」に跋文を付し「幻雲文集」を書いた。その書物から、彼と渡明医家 竹田昌慶の子孫や坂浄運の子孫とのかかわりがうかがえる。一方、月舟寿桂と親交のあった谷野一栢(いっばく)は越前朝倉氏の一乗谷で「勿聴子俗解八十一難経」(ふつちょうしぞっかい…なんぎょう)を出版し明医学を伝えた。「啓迪集」(けいてきしゅう)の著者 曲直瀬道三(1507～1594年)と交流のあった臨済宗僧、医家の策彦周良(さくげんしゅうりょう)は、月舟の師 桃源の学統を受け、多くの遺明で得た書物を道三に提供し、道三が「啓迪集」を著す援助をした。室町時代から安土桃山時代に活躍した著名な医師は、曲直瀬道三で嘉靖間の中国医学(1368～1567年)を日本に導入し、日本医学中興の祖と称される。京都で生まれた臨済宗の僧だったが、享禄元年(1527年)関東足利学校に入学し、1494年明から帰国した田代三喜(たしろさんき)に、享禄4年(1530年)、出会い医学を学び始めた。天文14年(1545年)京都に帰り、啓迪院学舎を創建して、医学教育活動に就いた。また、足利義輝、毛利元就、織田信長、豊臣秀吉らの診察をし、千利休とも親交があった。代表作は「啓迪集」8巻(1574年)で、実用医学で嘉靖版医書の記載が多い。多数の入明医師の実績、五山僧の漢学や医学導入などの背景の下で、道三流金元李朱医学が花開いた。

### タイ

1350年にウーソン王によって建都されてから、1767年にビルマ軍の攻撃で破壊されるまでの417年間、アユタヤ王朝の都としてタイの中心であり続けた都市アユタヤ。チャオプラヤ川とその支流に囲まれた地形は水運に恵まれ、17世紀初めにはヨーロッパと東アジアを結ぶ国際貿易都市として繁栄し、日本人町も形成され、山田長政が活躍したことで知られる。その都市計画や中央集権制度、国際貿易振興といった近代国家の基盤は、その後のバンコク王朝に受け継がれている。苔むした仏塔の群、悠然と横たわる涅槃像、素晴らしい建築美を誇る歴代王の離宮、かつて栄華を極めた古都の壮大な歴史が眠る遺跡の街アユタヤ。現代にその当時の姿をつたえる荘厳な遺跡群は歴史公園として整備されている。

ワット・ヤイチャイモンコンには、72メートルの巨大仏塔があり、黄色い袈裟の仏坐像が仏塔を取り囲み、僧侶に瞑想の場を提供するために造られた。寺院の北東側に真白な漆喰で塗られた根釈迦像がある。

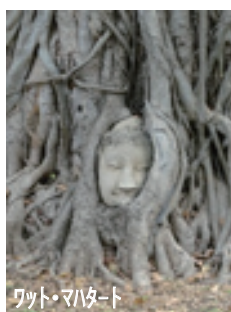
ワット・マハタートは14世紀には黄金に輝く44mの仏塔があったが、ビルマ侵攻時に破壊された仏像の頭が長い年月で自然に木の根に覆われた仏像で有名。

ワット・プラシーサンペットはかつては王宮として栄え、3人の王の遺骨が眠る美しい3基のシリナカ様式仏塔が美しい。最盛期は34仏塔があった。

ワット・ロカヤスタには寺院や本堂はなく、全長28mの寝釈迦仏が広大な草原に寝そべる。



ワット・ヤイチャイモンコン



ワット・マハタート



ワット・プラシーサンペット



ワット・ロカヤスタ



**メーコン線路市場**(バンコクから西へ70kmの)は100年前にでき、タイ国鉄メーコン線の終着駅メーコンにある。市場の中を列車が走ること有名な駅で、列車運行中の線路上で開かれている驚愕の市場。列車の通過にあわせ、店舗は広げた商品を一瞬で片付け、通過後にすぐにまた再開。その暮らしぶりを垣間見たい。

**ダムヌンサド アク水上マーケット**(バンコクから80km) はエンジンボートに乗って、迷路のような水路を通って行く。水路では地元の生活を肌で感じることができる。材料がも生息している。

王宮内にある王室の守護寺院、**ワット・アルン 寺院(ワット・プ・アラカ)**、「本堂」は外観が金箔と色ガラス/エメラルド、翡翠で作られた高さ66cmの「エメラルドブッダ」は、本尊で、雨季と乾期に衣を替える。その姿は「本堂正面の窓から」見ることができる。



ダムヌンサド アク水上マーケット



ワット・プ・アラカ



メーコン線路市場

**ワット・アルン**はチャオプラヤ川を挟むようにその姿を現す。本堂の本尊「釈迦座像」台座にはトンブリーに王朝を開いた創建者ラマ2世(ビームの侵攻を打破した英雄王)の遺骨が安置され、壁には「釈迦の生涯」が描かれている。大仏塔と小仏塔は独特の形をして尖っている。三島由紀夫の小説「暁の寺」の題材にもなっている(アルンは暁を意味する)。大仏塔は67m、塔の上部にヒンドゥー教の影響の「エラワ(象神)」「インドラ神」「シヴァ神」が彫られ、其周りは陶器片で飾られている。大仏塔の四方には4基の小仏塔が並び、その本尊の台座にガルダ(神鳥)、キナリ(半人半鳥像)、タークシン大王像が彫られている。

**涅槃仏寺院(ワット・ポー)**はバンコク最古の寺院、黄金の「涅槃釈迦仏」は金箔で覆われた涅槃仏で、全長46m、高さ15m。殿堂の108つの鉢托にタム硬貨を入ると煩惱を一つずつ捨てられると言われている。

「足の裏」は5m×3mあり、真珠貝を使った「螺細細工の108のバラモン教から生まれた仏教の宇宙観「モノイロバート」を表す絵が描かれている。本堂の本尊台座にはラマ1世遺骨が安置され、壁に「釈迦の生涯」、8枚の扉には「ラマキーン」の物語が螺細で描かれている。堂内壁には悟りを開いた後の釈迦が弟子たちに説いた話が描かれている。本土の後ろには4基の仏塔、緑「ラマ1世」、白「ラマ2世」、黄「ラマ3世」、青「ラマ4世」がそびえている。



ワット・アルン



ワット・ポー - 黄金「涅槃釈迦仏」



黄金「涅槃釈迦仏」足の裏

症例を示しましょう。

**症例1** 子宮内膜症 年齢35歳、女性、BMI 27。

「貧血を指摘され、月経痛が強く鎮痛剤は無効のため2年前、産婦人科受診して「子宮内膜症、卵巣チョコレート嚢胞4cm」と診断され、ディナゲスト、ルバベル、ルミナ、GnRHアナログ等の治療を受けたが副作用のため継続できなかった。超音波検査やMRI検査で、子宮腺筋症と卵巣チョコレート嚢胞3cmの所見であった。子宮頸部及び子宮体部細胞診(正常)、血液検査血色素8.0g/dl、月経:28日周期 7日間、月経量:過多。第1診 脈:弦、遅、沈、実。舌:淡暗赤色・薄白苔。腹証:腹力(+)、皮膚乾燥、胸脇苦満(-)、心下痞硬(-)、臍上悸(+)、臍傍臍下部抵抗圧痛(+)、早朝覚醒、眠気より、瘀血、血虚と診断して、桂枝茯苓丸合四物湯、鉄剤を処方。第2診 服薬4週間後、月経やや減り、血色素10g/dl。同処方。第3診 服薬8週間後、血色素11.0g/dl。同処方。第4診 服薬12週間後、血色素11.5g/dl。同処方。1年後、桂枝茯苓丸合四物湯、鉄剤(生理中)処方を継続。

**症例2** 感冒 年齢47歳、女性、BMI 20。

「2日前から急に喉痛を自覚。体温は38度、体は熱く、悪寒はないが自然と首や顔に汗が出る、食欲あるが口渇がある、関節痛はない。第1診 脈:浮、数、弦、実。舌:淡赤色・乾白苔。腹証:腹力弾力性、胸脇苦満(-)、両側腹直筋緊張(-)、臍傍抵抗圧痛(+)、実証、表熱、太陽病と診断して、桂枝湯+越婢加朮湯を処方。2日後、喉痛も発熱も改善し、廃薬。

**症例3** 疲労 年齢45歳、女性、BMI 21.0。

「疲れやすく、昼からは眠気が強い、食欲は低下していないが、足腰が冷え、頭がぼんやりしやすい、めまい感、喉の渴きを自覚、便は1日1回、尿は1日4~5回、夜間1回。第1診 脈:沈、細、遅。舌:淡暗紅色・乾白苔。腹証:腹力軟弱、胸脇苦満(+)、心下痞(+)、臍上悸、下腹部軟弱。虚証、少陽病、血虚、上衝と診断して、補中益気湯+麦門冬湯を処方。第2診 服薬4週間後、昼からは眠気が減り、疲れも減った。下肢の冷え、頭のぼんやり感是不変。第3、4診 服薬8、12週下肢の冷え、頭のぼんやり感是不変。第5診 服薬12週間後下肢の冷え、頭のぼんやり感是不変のため、補中益気湯+四物湯に変方。第6診 服薬16週間後、下肢の冷え、頭のぼんやり感も改善。第7診 服薬24週間後、症状改善したので、次第に薬量を減らし、1年後症状安定したので廃薬。

[院長]



## 子宮内膜症

月経痛、過多月経、性交痛、腰痛、肛門痛、排便痛、排卵痛、便秘（月経時は軟便傾向）で、イライラ（特に月経前）しやすく、不妊症の原因の50%を占めています。漢方薬で子宮（骨盤）の血行が改善し、体質が変わり多くの不定症状がなくなります。癒着が強く、大きいチョコレート嚢胞の方にはホルモン治療も併用することがあります。



## 感冒

鼻、喉、副鼻腔、気道粘膜にウイルス（ライノウイルスなど）が侵入、鼻汁や唾液などの飛沫が手などから移る感染症です。喉のいがらっぽさや痛み、鼻の不快感で始まる 경우가多く、その後くしゃみ、鼻水、咳、全身のだるさが生じますが基本的に発熱は伴いません。抗ヒスタミン薬、鎮咳薬、うがい薬等で治療を行い、発熱、頭痛、関節痛といった上気道以外の症状がある場合、解熱剤、鎮痛剤を処方することあります。体を温めたり、発汗させたり、喉の炎症を抑えたりする働きのある漢方薬も効果があります。



## 疲労や倦怠感

肉体的原因、過度なスポーツや過労や病後、すなわち、感染症、慢性炎症性疾患、貧血、心疾患、肺疾患、低血圧、更年期障害、糖尿病、甲状腺機能低下症、低栄養、電解質の異常、神経活動低下、アルコール中毒と精神的原因、うつ病や不安障害、睡眠障害があります。疲れが6カ月以上にわたって続くか、繰り返えされる状態を「慢性疲労」と言います。6か月以上強い倦怠感や疲労感、物事を判断する能力が低下（認知機能障害）したり、睡眠障害が続く場合は「慢性疲労症候群」と言い、「慢性疲労」とはまったく別です。早期発見、早期治療が大切です。原因不明の疲労が継続する場合、自律神経すなわち「交感神経」と「副交感神経」を調整する力のある漢方薬がおすすめです。



## 諸病源候論（しょびょうげんこうろん）

諸病源候論は巢元方（そうげんほう）が隋の時代にあたる610年に完成させた病理学書。当時の隋の皇帝、煬帝の命令で作成されたといわれている。主に病気の名前、症状、そして原因を記載したもので、内科系疾患から外傷まで幅広く紹介されている。その一方で傷寒論や金匱要略とは異なり具体的な治療法には触れていない。諸病源候論は上記の通り治療法は記載されていないが、その病気の分類方法は後に生まれる文献にも影響を及ぼした。王焘が著した外台秘要なども同書の病気分類をもとに処方が紹介されている。



# 当院の漢方治療(2023)

## 剤型

- ・エキス漢方薬：**錠剤タイプの漢方薬と顆粒タイプの漢方薬**があります。軽症・中程度の病気の治療に処方します。**当院の顆粒タイプの漢方薬**は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、**乾燥剤の入った容器**に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、**冷蔵庫(冷凍庫)**で保管して下さい。
- ・漢方煎じ薬：**重症の病気、エキス剤が無効な場合**に処方します。**良質の生薬**を組み合わせた漢方薬。  
20～30分煮て作ります。
- ・漢方入浴剤：アトピーの方の入浴剤をお作りします。

## 適応症

疲れ、冷え、むくみ、動悸、めまい、ほてり、便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、痛み、痺れ、発熱、かゆみ、排尿障害  
…など凡ての症状。

## 当院漢方治療の疾患

|          |                                  |
|----------|----------------------------------|
| 全身症状     | 全身倦怠感、冷え症、むくみ、頭痛、食欲不振、めまい、微熱、夏まけ |
| 産科・婦人科疾患 | 不妊症、更年期障害、月経前症候群、生理痛、子宮筋腫、子宮内膜症  |
|          | 月経不順、妊娠中諸症状(感冒、下腹部痛、便秘、下痢、むくみなど) |
| 皮膚疾患     | アトピー皮膚炎、にきび、尋常性乾癬                |
| アレルギー疾患  | アレルギー性鼻炎、蕁麻疹                     |
| 消化器疾患    | 便秘、下痢、慢性胃炎、神経性胃炎、過敏性腸症候群、潰瘍性大腸炎  |
|          | 機能性胃腸症、逆流性食道炎、痔                  |
| 代謝・免疫疾患  | 慢性関節リウマチ、肥満、糖尿病                  |
| 呼吸器疾患    | 慢性気管支炎、気管支喘息、感冒、インフルエンザ          |
| 腎泌尿器疾患   | 膀胱炎、頻尿、夜尿症                       |
| 整形外科疾患   | 腰痛、肩こり、神経痛、変形性膝関節症               |
| 心疾患      | 高血圧、不整脈                          |
| 心身医学的疾患  | 自律神経失調症、うつ病、不眠                   |
|          | 脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感          |
| 後遺症・副作用  | 抗癌剤使用時副作用                        |

## 女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、痰膿分泌物、心電図、骨量測定……)などを利用して、漢方薬を決めます。

### 漢方予約外来

漢方専門医(兼漢方専門医指導医)に本格的な漢方治療を希望される方のための「漢方予約外来」です。  
ご希望の方は当院受付又はお電話で診療時間内に予約してください。  
診療日時：毎週金曜日午後2時～3時20分、一人20分。

### 健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は早急に受付に連絡して下さい。

### ホームページ (<http://www.ukita.gr.jp>)

- ・トップページ (お知らせの欄、診療日程カレンダー)
- ・産科と婦人科のページ (入院、食事、各種教室、指導)  
(癌検診、不妊症、更年期障害)
- ・漢方治療のページ (漢方治療)
- ・各検診と予防接種のページ (健診、ブライダルチェック、予防接種)
- ・当院の施設案内、当院への交通 (車、JR)